

学校教育目標	認めあい 高めあい 助けあい ゆたかに花咲け保中生				
	○自らすすんで学び、考えを深める生徒を育てます。(知) ○人権を尊重し、自分も他者も大切にすることを育てます。(徳) ○心と体を鍛え、元気で明るい生徒を育てます。(体) ○地域の一人として、地域を大切に、自ら行動を起こす生徒を育てます。(公) ○日本の歴史・文化への理解を深め、広い世界で活躍できる生徒を育てます。(開)				
学校概要	創立 75 周年	学校長	窪田 智明	副校長	石米 誠
	児童生徒数: 934 人	主な関係校: 上星川小、常盤台小、坂本小、星川小、仏向小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自己も他者も尊重する力> <社会と関わっていく力> <すすんで挑戦し、向上していく力>	保土ヶ谷中 上星川小 常盤台小 坂本小 星川小	○人・もの・ことのかかわりを通して自らの考えを深め、豊かなコミュニケーション力を持つ子ども ○学習や生活のよい習慣を身につけ、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども ・小学校・中学校間の授業参観や研究授業参観及びその後の研究討議への参加 ・保土ヶ谷中学校文化祭に児童作品出品 ・小中教務主任会、児童支援・生徒指導専任会を通しての情報交換 ・各小学校で中学校の職場体験受け入れ ・小学校児童による中学校授業参観並びに、部活動参加体験実施 ・生徒会本部役員による各小学校へのオリエンテーション活動

中期取組目標	○生徒理解に基づき、一人ひとりに寄り添った生活指導や支援の充実に努めます。 ○誰もが意欲を持って取り組み、基礎・基本の定着を図るため、楽しく分かりやすい学習指導の充実に努めます。 ○自他を尊重できる環境を整え、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ○より良い学校生活を送るために、生徒一人ひとりが自ら考え、主体的に特別活動に取り組む学校を目指します。 ○学校行事や様々な活動に一生懸命に取り組むことを互いに認めあい、自信をもって何事にも挑戦していく姿勢を奨励します。 ○快適な生活空間整備のため、ゆたかに花咲く環境作りを目指します。 ○地域ボランティアをはじめとする地域との関わりや集団活動の中で自己有用感を育みます。 【具体的取組】◎元気の良い挨拶の励行 ◎互いの違いを認め合う ◎人の役に立つことをする
--------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 授業改善 担当 学習・図書係	①基本的な学習習慣の定着に向けて個に応じた助言や指導を増やす。②定期テストへ向けた学習計画表の活用について工夫・改善を行う。③「GIGAスクール構想」実施にともない、生徒の学習に効果的なICTの活用を教員自らも進んで行い、「学びの拡充と発展」へとつなげていく。
豊かな心 担当 道徳・人権係	①自他を大切に物事を主体的に考えられる生徒を育てるため、心の教育を推進する。②福祉の学習を深め、関心・意欲をもって身近な活動に参加できる生徒の育成を目指す。ボランティア活動を、生徒が社会に貢献する喜びや手応えを感じる自己有用感を高める機会にしていく。
健やかな体 担当 保健体育係	①定期的な体力測定を実施して、体力向上についての意欲を持たせるとともに計画的な運動実践で体力向上を図る。②1学期年度初め、2学期中ごろ、3学期後半の3回を最低でも実施し、その都度振り返りをさせる。
特別支援教育 担当 特別支援係	①特別支援ルームを運営し、不登校生徒が登校し教室に戻れるように支援する。②学習支援を行う。放課後に学習支援教室を行い、基本的な学力がつくように支援する。放課後学び場事業の利用を継続する。一般級の中の特別支援を要する生徒が学習する姿勢を作り、提出物が出せるように支援する。
キャリア教育 担当 横浜の時間係	「総合的な学習の時間(横浜の時間)」を中心に、①1年次では職業講話を中心とした取組を行う。②2年次では職場体験を行い、1年次での活動を発展させる。③3年次では進路決定を①、②での活動と関連付け、理想の実現にむけての継続的な指導を進める。
安全防災 学習の実践 担当 保健安全係	①1年生で「交通安全教育」を実施する。2年生は「地域防災拠点防災訓練」に参加し、地域の一人として活躍する人材となる意識を高める。3年生で「救命救急講習会」を実施、知識・技術を身に付ける。②避難訓練の意識を高め、緊急時に的確な行動がとれるように指導を進める。
自治活動の充実 担当 特別活動指導部	①充実した学校生活のためにどんな工夫ができるかを、委員会ごとに考え、年間活動目標をつくり、それに基づいた活動を行う。②職員が委員会活動について話し合う機会を定期的につくり、全校評議会の内容を特活指導部が中心となり、全体で共有できるようにする。
地域との連携 学校運営協議会 担当 学校運営協議会担当	①学年での活動や委員会、部活、ボランティアなどを通して、地域行事に積極的に参加し、地域と連携、協力し合う姿勢を高める。②学校運営協議会を開くことで、地域の思いや意見を伺い、学校運営の改善につなげる。また、生徒だけでなく職員も地域と関わり交流する場として活用する。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①生徒一人ひとりに寄り添い、生徒が自己有用感を持てる環境を作る。②教職員が些細な兆候や懸念、生徒からの訴えを素早く報告・相談し、学校の組織的な対応ができるようにする。③①・②の活動ができているか年間を通して、点検や改善をする。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 カリマネチーム	①定期的にメンター研修を実施し、保護者面談や評価に向けてなど、実践的な研修を積む。新教育課程への移行に向けて、指導や学習評価の在り方について研修を深める。②よりよい教育活動を行うために、組織的な取組の充実とPDCAサイクルの確立を推進し、業務の質の向上と職員の負担軽減を図る。